

## 不正ログイン対策のための『多要素認証サービス』設定手順書

### ～Apple ID 編～

掲載日：2018 年 3 月 8 日

更新日：2019 年 9 月 17 日

独立行政法人情報処理推進機構

セキュリティセンター

### Apple ID 編 ～「2 ファクタ認証」～

Apple では第三者によるアカウントの不正な乗っ取りへの対策として、「2 ファクタ認証」という認証方式を提供しています。「2 ファクタ認証」は Apple ID とデバイスとの紐付けを行なうことで、より強固な認証を実現します。

特に、iPhone や iPad をお持ちの方にお勧めします。

### 1. 「2 ファクタ認証」の機能概要

「2 ファクタ認証」の設定をしている場合、自身が所有する別のデバイス (iPad やパソコン等)、あるいは第三者が利用する別のデバイスから、その Apple ID へサインインしようとしても、「2 ファクタ認証」により、パスワードだけではサインインできません。自身が所有する iPhone 上に表示される 6 桁の数字による確認コードを入力しなければ、サインインを完了することができなくなります。

一度、信頼できるデバイスとして登録した端末からは、6 桁の確認コードの入力を必要とせず、Apple ID へサインインすることができます。

なお、本ページに掲載している画面表示がお使いの端末と異なる等、手順通りに進められない場合は、Apple の Web サイトの FAQ、サポート窓口等にて、ご確認ください。

・ Apple ID の 2 ファクタ認証

<https://support.apple.com/ja-jp/HT204915>



Apple ID の「2 ファクタ認証」 説明 Web サイト画面

## 2. 「2 ファクタ認証」の設定確認

iOS 10.3 以降または macOS 10.12.4 以降で作成された一部の新しい Apple ID に対しては、2 ファクタ認証がデフォルトのセキュリティ対策となっています。

・セキュリティと Apple ID

<https://support.apple.com/ja-jp/HT201303>

まずは、自分が現在使っている Apple ID の 2 ファクタ認証がオンになっているかを確認する手順を説明します。(本項では iPhone(iOS 12.4)における画面例にて説明します。)

(1) iPhone ホーム画面の「設定」アイコンをタップします。



(2) 「設定」メニュー内の Apple ID アカウント（画像では「情報まもる」）をタップします。



(3) 「Apple ID」画面が開きます。「パスワードとセキュリティ」項目をタップします。



(4) Apple ID のパスワードが求められます。パスワードを入力します。



(5) 「パスワードとセキュリティ」画面が開きますので、「2ファクタ認証」の項目を確認します。



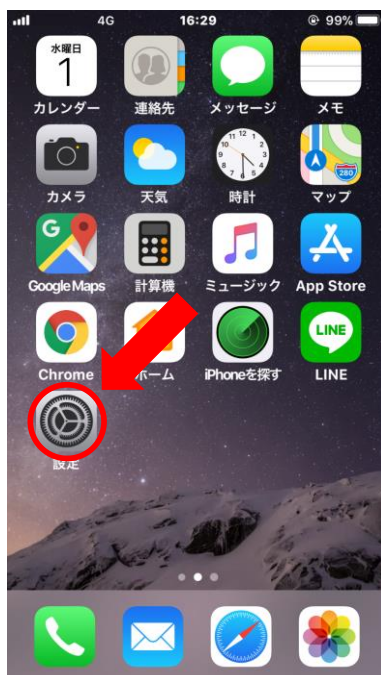
「2ファクタ認証」の項目が「オン」になっている場合は、お使いの Apple ID には 2ファクタ認証が設定されています。

「オフ」になっている場合は、2ファクタ認証が設定されていないので、次のページからの設定手順に従って設定を行ってください。

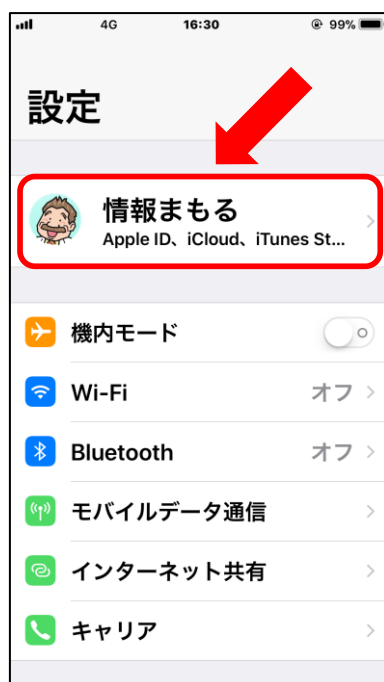
### 3. 「2ファクタ認証」の設定手順

本項では iPhone(iOS 11.2.1)における画面例とともに、「2ファクタ認証」の設定手順を紹介します。

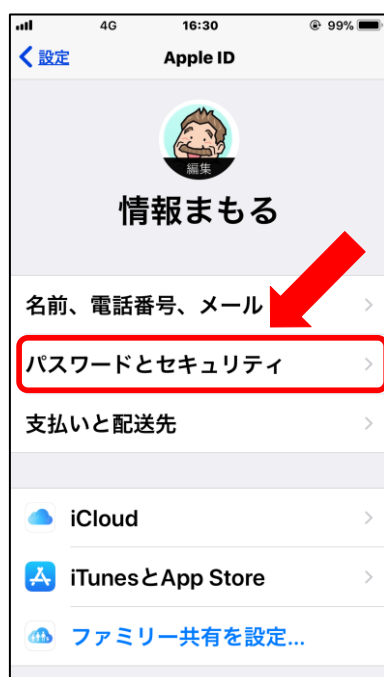
(1)iPhone ホーム画面の「設定」アイコンをタップします。



(2) 「設定」メニュー内の Apple ID アカウント（画像では「情報まもる」）をタップします。



(3) 「Apple ID」画面が開きます。「パスワードとセキュリティ」項目をタップします。



(4) Apple ID のパスワードが求められます。パスワードを入力します。



(5) 「パスワードとセキュリティ」画面が開きます。青字で書かれた「2ファクタ認証を有効にする」をタップします。



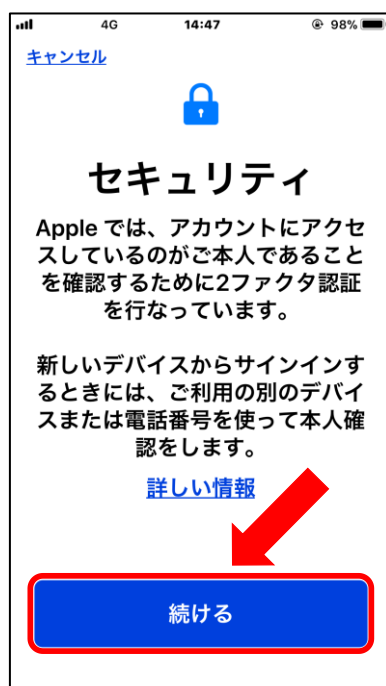


(6)もし、iPhone のパスコードを作成していなかった場合は、このときパスコードの作成を求められます。



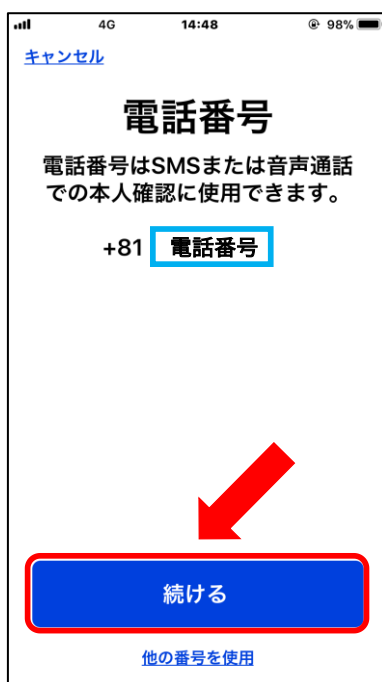
(7)パスコードの作成を終えた場合、2ファクタ認証の設定画面へ移ります。

「続ける」をタップすると、次の画面に移ります。「詳しい情報」を押すと、2ファクタ認証についての説明を見ることができます。

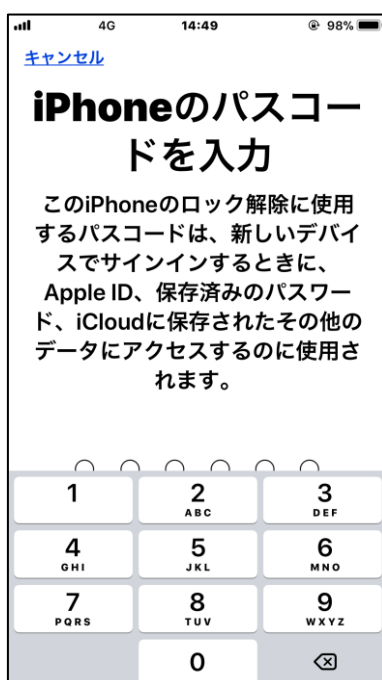


(8)「信頼できる電話番号」を登録します。設定をしている iPhone に電話番号がある場合は、自動でその iPhone の電話番号が表示され、その番号をそのまま「信頼できる電話番号」として登録することができます。(いま設定している iPhone 以外の電話番号を登録する場合は、「他の番号を使用」をタップして、SMS か音声通話で番号の確認を行ってください。)

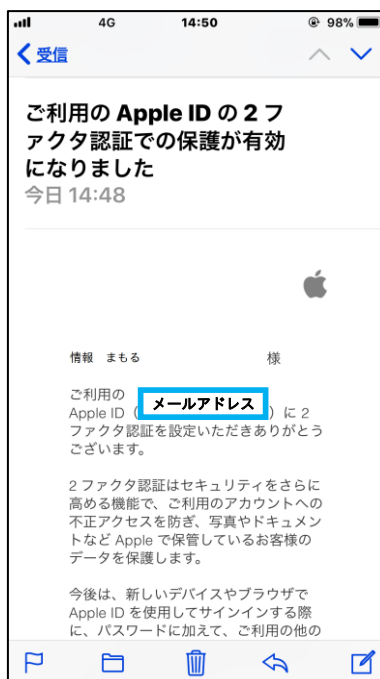
ここでは、表示された iPhone の番号を登録する手順を記載します。  
「続ける」をタップします。



(9) iPhone に設定したパスコードが求められます。パスコードを入力します。



(10)入力を終わると、2ファクタ認証の設定が完了します。  
完了した旨を通知するメールが届きます。



#### 4. 自身が保有する別デバイスからログイン時の動作イメージ

2ファクタ認証の設定を完了した Apple ID に、別デバイス(ここではパソコン)からアクセスする手順を紹介します。

(1) パソコン上のインターネットブラウザから、Apple ID へのサインイン画面 (<https://appleid.apple.com>) を開いて Apple ID(メールアドレス)とパスワードを入力します。



(2) 2ファクタ認証で使われる、6桁の認証コードを要求する画面が表示されます。



(3) パソコン側で(2)の画面が出たとき、2ファクタ認証を設定した iPhone 上には別デバイスからサインインの要求があったことを、通知するポップアップが表示されますので、「許可する」をタップします。

なお、ここで表示される位置情報は精度が高くない場合もあり、実際の場所とずれているケースもあります。



(4)「許可する」をタップすると、認証コードが表示されます。「OK」をタップすると、表示を消すことができます。



(5)表示された認証コードをパソコン側で入力します。入力すると、サインインが完了します。



## 5. 第三者がログイン試行した際の「2 ファクタ認証」の動作イメージ

Apple ID の「2 ファクタ認証」を設定した場合、不正ログインをどのように防げるのか、その動作イメージを紹介します。

例えば、Apple ID のメールアドレスとパスワードの組み合わせが知られてしまい、第三者がサインインを試行したものとします。

第三者によるメールアドレスとパスワードによるサインインが成功すると、「2 ファクタ認証」を設定した iPhone 上に、第三者がログインを試行している「サインイン要求画面」が表示されます。

(1) 「許可しない」をタップします。

ここでログインを拒否することで、第三者のログインを防ぐことができます。



このように 2 ファクタ認証を設定すると、第三者による不正ログインを防ぐことが可能となります。

## 6. 関連情報リンク

- ・ Apple ID の 2 ファクタ認証

<https://support.apple.com/ja-jp/HT204915>

- ・ 確認コードを入手して 2 ファクタ認証でサインインする

<https://support.apple.com/ja-jp/HT204974>

- ・ セキュリティと Apple ID

<https://support.apple.com/ja-jp/HT201303>

## 更新履歴

2018 年 3 月 8 日 掲載

2019 年 9 月 17 日 iOS 12.4 での 2 ファクタ認証の設定確認手順を追加